



ごあいさつ

北海道札幌東高等学校同窓会会长
吉中新太郎



同窓会報の発刊にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

母校は、明治四十年札幌区立女子職業学校の開校より数えて昨年は八十年目にあたり、九月には創立八十周年記念の行事が挙行されました。厚生年金会館での記念式典には在校生を含め千九百名の多くが参列し、パークホテルでの各界よりのご来賓四百名による祝宴など、八十年の伝統に相応しい誠に盛大な式典・祝賀会を挙行することができました。これは、東高後援会、体育文化後援会、PTAなど関係各位の総力のお陰であります。特に同窓会からは多くの方々より予期を上回る多額のご協賛を賜り、厚く御礼申し上げます。なお、ご寄付戴きました協賛金の残余金は、同窓会がお預かりし、今後の周年記念の事業に備えることとしました。

昨年総会において、昭和四十七年よ

り五期十五年間同窓会長を務められた松尾前会長が内外より惜しまれながら引退され、今後は顧問として高所よりご教示戴くことになりました。松尾前会長には創立七十周年記念・校舎改築など、東高の歴史的大きな事業を実施されたご功績に対し深く敬意と感謝を捧げるものであります。

同窓会は現在二万七千名

このうち東高卒は一万七千名を擁しておりますが、このたび、東高卒業生としては初めての会長を私が受けすることになり、併せて他の役員も東高卒業生が多くなるなど、八十年の歴史に伴う変遷を感じております。然し、八十周年行事の際に発揮された、高女の方々の情熱や、強力なご協賛などから、同窓会に占める高女卒の方々の偉大さには

常々痛感いたし、今後も物心共々同窓会の大きな支えであることに変りありません。高女先輩各位の引き続いてのご支援をお願い申し上げます。

最後に、母校は今春、河西校長先生のあとを受けて鍵谷校長先生がご着任され、大学合格における近年の大躍進に益々期待が持てるところであります。今後もこの名門校の同窓会として恥じない同窓会でありたいと存じますので、会員皆様の暖かいご協力をお願いすると共に、皆様の益々のご健勝をご祈念申し上げます。

東高の一層の躍進を期して

札幌東高等学校長 鍵谷 信郎



この4月に、22代目の校長として着

任いたしました。歴史と伝統を誇る全道屈指の名門札幌東高に職を奉ずることができるのは、誠に光栄の至りであり、非力ではありますが、誠心誠意最善を尽くしていく所存ですので、よろしく御鞭撻の程お願いいたします。

明治40年、札幌区立女子職業学校として中島公園の一角に呱々の声をあげた本校は、星霜ここに81年、実科高等女学校、市立高等女学校と校名の変遷を経ながら年々発展の一途を辿り、戦前戦中を通じては、府立高女（現札幌北高）と並ぶ北海道女子中等教育機関の双璧とみなされてきたのであります。天王の一翼に位置して、道高校教育界の重鎮たる盤石の存在を誇示してきたところであります。この間の卒業生総

数今や3万人になんなんとして、しかも、それぞれが全道、全国各界において、はたまた遠く海外各地において、目覚ましい活躍振りであるのは実に壯観そのものともいうべく、頗もしくも力強い限りと申せましよう。

まこと、東高がすばらしい学校であるのは間違いないところです。因みに、着任早々の印象が大へんいいものだつたことを思い起こすのであります。第一に、教職員の中に東高教育にかける気迫といったようなものが満ち満ちているということ、従つて、その成果ではありますようが、第二に、校舎の内外とともに美化・整理・整頓が行き届き、生徒のマナー・あいさつ・みなり等にも高校生らしいさわやかさが見られること、第三に、部活動等にも活気と明るさが目立ちたましまさが感じられるなど、好印象の何点かを即座にあげることができるのはうれしいことです。当然のことながら、このような学校がよくないということは、絶対にあり得ません。教師・生徒の呼吸がよく合った活気の溢れる学園——これ

が我らが東高の今の姿だと考えていました。

さらにつけ加えるならば、もつともこの点に特に注目していただきたいのあります。東高生は、自身の進路希望実現に向けた意欲満々たるものがあり、日々よく勉学に精励する好ましい状況が見られます。今春、大学進学面の東高勢大躍進の快挙は、まさに刮目に値すると言つてよいであります。うちも東高生の日頃の精進の賜物

であり、東高伝統の校訓「克己自彊」が、東高生一人ひとりの中にしっかりと根づいたことを示す証左だとも考えられます。即ち、国公立大学総合格者数360（前年度248、前々年度190）を数え、北大合格者にあつては計87（前年度59、前々年度59）と一挙に道内第三位に躍り出るなど、道内外から「東高すごい」との評価をいただいたところであります。

この勢いに乗つてと申しましようか、今、東高では、教職員が燃え、生徒もまた燃えています。無論、次の新たな目標に向けて、即ち一段の飛躍を期してあります。長い人生の中で最も収穫が多いとされるのは高校時代であり、従つて、多少苦しくとも頑張り抜くことが計り知れないプラスをもたらすとすれば、刻苦勉励の時はまさしく今、と考えるからであります。つまり、基

本的には、一にも二にも努力、三にもだいて結構かと存じます。努力の心構えが本校生のバックボーンだとあります。しかし、ひどいガリ勉型を育てるという意味では決してありません。スポーツを奨励し、特別活動・部活動等の活性化を図るなど、たくましい心身を十分鍛えていく中で、東高生たるにふさわしくその知識エネルギーの完全燃焼を促したいとするのが、本校教職員の願いであります。

それにしても、以上のような東高教育の展開に当たつて、東高に關係する方々あげての強力なバックアップを頂戴できるのはありがたいことです。PT会にして然り、同窓会にしてももちろん然りであり、東高の今日の盛運もうした関係各位の温かい御支援あつてのことと、厚くお礼申し上げたいと存じます。

今後とも、御声援を支えにしながら、教職員一体となつて、東高教育の一層の充実を目指し、渾身の力を尽くす決意でありますので、相変わらぬ御健幸を賜ればと考えます。札東高同窓会の益々の御发展を御祈念申し上げるとともに、会員各位お一人おひとりの御健康と御繁栄を心からお祈り申し上げ、ごあいさつといたします。

札幌東高等学校、万歳。

第78回同窓会を振り返つて

四期卒業 唯 博幸



なひとときの思いをふくらませて生ま
れたものであります。

こうして、3世代が、同窓会大成功
の使命感に燃えて、配券、広告、会場
準備、催物、受付、等々、一緒に汗を
流した中で、また一つの出会いを経験
し、友情の再確認をすることができた
ものと考えております。

第79回同窓会の開催を心よりお祝い
申し上げますとともに、本日の総会の
開催にご尽力された皆様の長期間にわ
たるご労苦に感謝とおねぎらいを申し
上げます。

また、昨年は本校創立80周年の意義
深い佳節を迎えての第78回同窓会を、
皆様の絶大なるご協力によりまして成
功裏に終えることができましたことを
厚くお礼申し上げます。

今、前回を振り返り強く思い起こし
ますのは、やはり実行委員として活躍
いただいた当番期であります4、18、
37期の素晴らしい面々、仲間達のことです。

『もう一度、フレンドシップ』——き
つとずっと仲間です。——この昨年のテ
ーマは『青春の思い出』。人とのつなが
り等々、幹事諸氏の昔に返った若々
しい議論の中から、語り合いの爽やか

なひとときの思いをふくらませて生ま
れたものであります。

こうして、3世代が、同窓会大成功
の使命感に燃えて、配券、広告、会場
準備、催物、受付、等々、一緒に汗を
流した中で、また一つの出会いを経験
し、友情の再確認をすることができた
ものと考えております。

遠い昔の友に会い、忘れぬ思い出
を語り合う——こんな夢を実現しよう
とした仲間たちからのコメントです。
——30年ぶり、20年ぶりで会えて大感
激——

——同窓会の直後、同期会を開き10
0名近くの人数で、もう一度フレ
ンドシップ——

——広告集めをして再認識。素晴らしい
先輩たちを生んだ歴史ある名門校

——まもなく1000名参加の同窓会
も夢ではありません。

最後に、当会が育む友情と連帯が益々
強固になりますことを、そして母校が
更なる発展を遂げ、皆様の今後一層の
ご活躍をされますことを、心より祈念
いたします。

東高祭

63・7・13～15



第三十九回東高祭が本校で
盛大に行われました。

今年のテーマはAwake(覚
醒)サブテーマ君はダイヤ
の原石だ!!

させられました。

それに比べると同窓会室は?

来年の展示は負けない意気込みで頑
張ります。

九十年及び二十一世紀に
向けて、大いなる使命と責務
に目醒ましつつ「自主・自律・
協働」の旗印のもと、また、
37期の素晴らしい面々、仲間達のことです。

第三十八期生の小原和宏君を中心と
して八名の応援を戴き(阿部先生の力)
十三日から十五日まで忙しい中ジュー
ス無料交換もスムーズに行われたこと
厚くお礼申し上げます。

東高生独特の「自彊」の精神
を發揮することを目標に東高

母校担当 秦・小林・陣内

祭が盛大に開催されました。
本年初めて母校担当として
学祭に参加し後輩諸君のプロ
顔負けの会場づくりには感心



東京支部だより

○結成十年、これからが正念場早いもので、東高同窓会東京支部が結成され、活動を始めてから十年が経ちました。会員数の把握も、会員の努力で、約一、九〇〇名の所在を確認しています。今年は同窓会本部の事業として同窓会名簿が完成するとの事、所在の識らなかつた新たな仲間が増えるのを、楽しみにしています。

定例の支部総会、懇親会は、昨年の十一月八日、若者の街「新宿・歌舞伎町」のセントラルパークで、会員約一四〇名の出席のもと、支部長（工藤恒美・東2期）のユーモアあふれる挨拶、続々幹事長（鈴木一成・東4期）による会務、会計報告等を承認し、総会は無事終了しました。

総会に続く懇親会がメイン行事のようなものですが、本年度は支部結成十一年ということで、当番幹事一同大張り切り。

札幌から恩師の阿倍先生（英語）佐藤先生（物理）を迎え、また、東京近郊に住んでおられる伊藤先生をはじめとするご来賓の出席を得て、高校時代の想い出話に一段と華を添えていただきました。

同窓会本部から送つていただいた東高のビデオテープが流れる、瞬間に止まつたかのように静かになりました。

場所 札幌ライオン銀座七丁目店
当番期 東十五期
連絡先 小林 潔（0474—78—2658）
記・東京支部幹事長 堀田 捷郎 東14期卒

なり、やがて、当時の思い出が一層鮮明に呼び起された、その後の話声が一段と高くなりました。そんな中で札幌ドの手術をして声が出ないから、挨拶は辞退したいとのお話をしたが、宴が進み、盛りあがる空気の中で、十分に声は出せないがぜひ話をしたい、とう申し出。昔の授業を思い出させる歯切れの良いテンポのお元気な阿倍ブシが聞けて、参加者は大喜びでした。

料理もニシン漬やふかしたジャガイモが飛び出し、北海道を語るには十分な演出もあり楽しい時間は、あつとう間に過ぎました。

支部活動をより活性化させ、同窓会の活動、参加をどう盛りたてるか今後の課題も残っていますが、工藤支部長をはじめ、幹事一同智恵をしぼり頑張っています。特に若い年代の同窓生の参加を積極的に促進させる必要性を痛感しています。

本年度も第十一回の支部総会が十一月二十三日（日）左記の要領で開催されます。どこからでも、飛び入り大歓迎致します。

私の宝

元東高体育教師

現手稻高校教師 遠藤 忠



一頁を飾ってくれた。

自分自身現役選手として、第1回国体（昭和21年）以来幾回も参加したが、教え子が各種の大会に参加する事は又

格別である。在職中全国インターハイには9回、国体には6回参加し活躍してくれた。指導者冥利につきる。

36年の教員生活、想い出は数え切れない。22歳で教員になり、現在3校目。その第一番目が「札幌東高校」であり、13年間御世話をした。昭和27年から40年迄である。今日の私の基盤はここで培われたわけである。

想い出の第一は、最初の担任「6期」。今でも「トン六」会と称して毎年集まっているが、7歳より違わない兄弟みたていなものである。いつも楽しい一刻を過さしてもらっている。

安倍先生には特段御世話になり（母と同じ年）私は教員のイロハを教わった。修学旅行には御一緒し、親子の旅みたいなものだった。

高校時代に汗を流し、涙を浮かべながら、手の皮を剥いた部員の青春時代に一緒に相手出来た事が、私の一生の宝となっている。

この想い出を作つてくれた、東高校に対する感謝の念で一ぱいである。

二期生の集い



私達が旧制中学へ入学しましたのは、昭和二十一年の事でした。戦後間もない昭和二十一年の事でした。一中、二中、市立高女、市立中学、に進んだ訳ですが、その後の学制改革で男女共学となり、又学区の変更等もあって、同級生が散り散りとなってしまい、現在の札幌東高、西高、南高、北高の四校に移った訳です。

昨年が卒業してから三十五年目になるため、四校の幹事グループが「合同では非同期会」と、名簿を整理するなど一年がかりで準備を進めまして、「札幌東西南北四高二期合同同期会」なるものを初めて実現致しました。時は昨年八月十四日夜、所は札幌サンブ

東高二期 長谷川 修

同期会だより

『東九会』 東京支部

東高九期 昭和三十四年卒業

女共学も体験しそのまま恋を実らせたカップルを含めた実年の三百五十人となりました。今もなお元気な恩師三十人が出席し

ました。会の方は懐しい顔や、なかなか思い出せない色々の連続でしたが、進む程に盛りあがりまして、各高校の表がペアでマイクを握り、ザラ紙の教科書で勉強した思い出の青春時代をふり返つたり、数年後には忘れずにやつてくる還暦に、記念行事としてツアーワークを組み修学旅行のコース等を尋ねる夢を語り合いました。会場には生バンドでテネシーウルツなど当時の懐しいメロディーが流れあつと云う間の二時間半、楽しい楽しいタイムトンネルでした。この模様はH.B.C.T.Vや北海道新聞に報道された事は記憶に新しいところです。

又、東九会東京支部の名称を『九年会』とする事を決定し毎年開催することにしました。

なお、昭和六十四年の八月に卒業三十周年を迎えるに当たり札幌での東高同窓会総会参加と、定山渓温泉での東九会同期会に出席するべく再会を約しました。

午後九時すぎ全員で浅草寺にて参拝し母校及び同期全員の繁栄と健康を祈願し散会しました。最後に来年八十周年を迎える同窓会のご発展を心よりお祈り申し上げます。

昨年十月二日（金）東京都台東区西浅草二丁目の「割烹濱清」にて午後六時から九時まで二十九名の参加をえて行われました。東高創立八十周年という名目で集まり、札幌の思い出や学校の思い出等、長時間に亘り、旧交を温めました。



※同窓会名簿への協力方について

同窓会名簿は、本年中に発刊すべく準備中であります。ご協力を願います。

また、広告掲載の申込みが相当不足している状況にありますので、絶大なるご協力を併せてお願いいたします。なお、名簿についてご不明の点又は照会事項のある方は左記まで連絡下さい。

記
一、名簿作成委員（代表）

吉中会長、田中副会長

岩城幹事長、高橋副幹事長

一、名簿作成実行委員会

二八一一三〇六〇

創立八〇周年記念事業について

八〇周年記念事業のテーマが「ふれ
あい」ということで、記念式典には母
校にかかわりのある方々が多く
の人々に出席してもらい、感謝の意を
表したいという河西校長の希望もあり、
秋晴れの九月一七日、厚生年金会館で
開かれた記念式典は大変な盛況であつ
た。

来賓一二三名、父母一〇五名、同窓
会五〇名、母校教職員八〇名、生徒一
五五〇名の合計一九〇七名の出席のも
とに午前九時より開始され、河西校長

式辞、宇佐見協賛会長挨拶、歴代の校
長・PTA会長・体育会長・同窓会長・
教頭・事務長・永年勤続者等に対する
感謝状・記念品贈呈等があり、最後に
生徒を代表して小原学友会長が謝辞を
のべ、市立高女第一校歌・東高校歌を
齊唱して式典を終えた。

その後、記録映画「東校の歴史」
が上映されたが、明治・大正・昭和の
三代にわたる時代の推移、校舎の変遷、
学生生活の移り変わりなどに深い感銘
をおぼえた。



午後からは場所を札幌パークホテル
に移して、祝賀会が開かれた。

来賓四〇名、協賛会役員四六名、旧
職員七七名、PTA一一八名、同窓会
八七名、現職員九四名の合計四六二名
が出席したが、とくに高女六期の皆さ
んは、あわせてこの日に同期会も予定
しているとのことで多数の参加がめだ
つた。

祝賀会では、吉中新太郎協賛会副会
長（同窓会長）の開会のあいさつ、北
海道議會議員久田恭志氏の祝辞等があ
り、五条流正派家元・五条珠淑氏によ
る祝舞「老松」も披露された。特に旧



教職員の出席が多く、同窓生と在校当
時の思い出話がいつまでも続き、最後
に元校長高山秀丸先生の万歳三唱、岩
城弘佑協賛会副会長の閉会の辞で四時
間半にわたる祝宴が終了した。

なお八〇周年記念誌は、第一編・八
十年沿革概要、第二編・現況（全日制
第三編・定期制、第四編・外郭団体、
第五編・資料、第六編・八十周年記念
の記録という内容になつており、昭和
六年一一月三〇日に発行された。

幹事長 岩城 弘佑

昭和六十二年度 札幌市社会教育功労者に選ばれて (芸術・文化部門)

市立高女第二十四期卒業の細田恵子

(旧姓原田)さんは昭和六十二年度札幌市社会教育功労者(芸術・文化部門)

に選ばれ表彰されました。

長い間アマチュア演劇の第一線で活躍

躍…昭和三十九年より札幌文化団体協議会事務局次長、昭和四十五年から

は北海道文化団体協議会事務局次長も兼任されての働きが認められて表彰されました。原田さんは小さい時から舞踊を習い絵画・音楽・文学を愛する御

両親の元で少しずつ文化的な芽を育てて来られました。

そして、第二次世界大戦終了時は高校の卒業期でもあって、当時、若い女性が憧れた、音楽劇、「狸御殿」の主役を謝恩会の席で演じた事が細田さんの人生が演劇活動へ進ませたとのことです。

昭和二十八年、理解ある御主人の協力を得て、自ら劇団「十日会」を設立し、以来この道一筋に、あらゆる面で「十日会」を支えて来られ今日に至っています。

最初は演じる役であったのが次第に演出へも意欲を燃やし、中央から見る有名な俳優さん、演出家とも接する様になつて、芸域を拡げ、又後輩の育

成に勤められました。

上演して来た作品はシェイクスピアの「十二夜」あり、久保栄作「火山灰地」、又森本薰作「女の一生」や椎名麟三作「家主の上京」、又は筒井康隆の作

品ありで、札幌の職場サーカル発表会の活動・高校演劇の発表会等が、年々発展を見る様になつたのも、細田さんの地道な努力が輪を広げて来た様に思います。

札幌市の文化団体のまとめ役として、演劇一筋に、たゆまぬ努力を続けて来られた、情熱と強い意志に敬意を表し、原田さんのますますの御活躍を期待したいと思います。

高女24期 秦 泰子

ほそだ・けいこ 札幌市立高女専攻科卒。昭和28年6月に劇団「十日会」を創立し、アマチュア演劇の第一線で活躍を続け、39年から札幌文化団体協議会事務局次長、45年からは北海道文化団体協議会事務局次長も兼任している。札幌市の62年度社会教育功労者(芸術・文化)に選ばれた。「十日会」代表。札幌市出身、58歳。札幌市中央区南18西13。

同窓会ゴルフ大会 (63・7・21)

ゴルフ会会長 氏家 保嗣

恒例の同窓会ゴルフコンペが札幌美蓉CC南、中コースで行われ四十一名の参加を得て開催されました。

好天に恵まれ吉中同窓会長の挨拶を戴き、それぞれアウトインと同時にスタートしました。表彰式は氏家会長の挨拶と賞品授与がおこなわれました。

本年は高女、東高職員の参加が無く多少寂しくはありましたがあな事は無事盛会裡に終わることが出来ました事は各期幹事の皆様がたと世話人会のご協力の賜と深く感謝致しております。来年の七月も今年参加した皆様がたと、各期の

優勝 東高十二期チーム
(二八三ストローク)
選手名 中静勝彦、佐々木信義

準優勝 東高八期チーム
(二九八ストローク)
選手名 杉中耕一、大黒正芳

田中勝見、佐藤莊六

ア 優勝 東高十二期チーム
(二八三ストローク)

選手名 中静勝彦、佐藤莊六

准優勝 東高八期チーム
(二九八ストローク)

選手名 杉中耕一、大黒正芳

田中勝見、佐藤莊六

准優勝 東高十二期チーム
(二九八ストローク)
選手名 中静勝彦、佐々木信義

デ上位

卒業期
トネツ・ハシ

優勝 中静 勝彦 「東12」
準優勝 南 規継 「東6」
一位 藤枝 靖規 「東14」
二位 今野谷 広 「東7」
三位 秦 敬 「東5」
四位 佐藤 荘六 「東12」
五位 田中 勝見 「東12」
六位 杉中 耕一 「東8」
七位 黒沢 昌保 「東1」
72 72 70 70 69 68 68 24 24 24 15
19 8 36 17 9 28 15
ベストグロス賞

ゴルフ幹事を中心としてゴルフ愛好家を多く集め活発な会としたいと思いまので、ご協力の程宜しくお願ひいたします。

成績は次の通りです。

〈団体賞〉上位同期四名のネットスコ



昭和62年度 東高同窓会 会務報告

昭和63年度 事業計画案

としている。

一、昭和62年度総会および懇親会

8月21日にパークホテルで開催され、例年どおり五百五十名前後の会員・恩師が参加した。(当番幹事は東校4期・18期・37期)

61年度会務報告および決算ならびに監査の諸報告が承認され、ついで62年度事業計画案・予算案が上提され、いずれも原案どおり可決された。

また、札幌東高等学校同窓会会則の一部改正案ならびに役員の任期満了に伴い、幹事会で選出された新役員の紹介があり、いずれも可決・承認された。

なお、懇親会においては、当番幹事より松尾静江前会長に感謝の意をこめて花束が贈呈された。

二、常任幹事会及び幹事会

昭和62年度の常任幹事会は1月18日と6月21日に、幹事会は7月7日にそれぞれ開催され、例年どおり、必要な事項について協議した。

三、同窓会入会式

第38回卒業生の同窓会入会式は3月9日に母校において行なわれ、卒業生四四八名が入会した。

四、支部・同期会・同好会への助成等

名が参加してゴルフ大会が開かれた。

なお、例年どおり、函館支部への助成のほか、同期会の助成(一回目三万円・二回目以降一万円)に努め、会員円・二回目以降一万円)に努め、会員相互の親睦を図った。

五、創立80周年記念事業への参加

さわやかな秋晴れの9月17日、厚生年金会館で東校創立80周年記念式典が行なわれ、合計一九〇七名(うち生徒一五五〇名)が出席した。このうち、同窓会から五〇名の参加者があつた。

統いて、札幌パークホテルで祝賀会が開かれ、同窓会からは八七名が参加した。

なお、記念事業の協賛金として、同窓会の特別会計積立金から三〇〇万円を寄付したほか、同窓生に対しても、広告協賛金の協力をお願いしたところ、さらに二七二万五〇〇〇円の援助をいただいた。

六、同窓会名簿作成

当初の予定どおり、昭和63年中に発刊される。

なお、住所氏名等の判明率は90%以上・販売部数は四〇〇〇冊以上を目指

◎ 同窓会に助成金

より多くの呼びかけで、親睦の和をさらにひろげる同期会への助成金制度です。どしどしご利用ください。はじめての同期会開催には:三万円。次回以降の同期会開催には:一万円。

△申し込みはハガキで事務局へ。

期名・代表者名(フリガナつき)と電話番号・振込銀行と口座番号・開催日時と会場を記入の上お申ください。銀行振込制です。

◎ 住所などの変更はハガキで

住所・電話・勤務先などを変更させ下さい。

◎ 年会費について

年会費(五百円)は、同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。

会員各位の特段のご協力を願います。

◎ 会員登録について

年会費(五百円)は、同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。

会員各位の特段のご協力を願います。

◎ 会員登録について

年会費(五百円)は、同窓会運営上の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。

会員各位の特段のご協力を願います。

◎ 同好会に参加を

ゴルフ、麻雀、テニス、ほか同好の会員による懇親の集まりにふるつて参加しませんか。今年はゴルフの

ご好会が開かれました。お企画やご希望をお寄せください。お問い合わせは、組織担当副幹事長(本間・村山・富樫まで)役員名簿参

◎ 会報の送付を希望される方や、同好会事務局までお寄せください。

札幌東高同窓会事務局

皆田・藤原・阿部・飯田・広江先生

011-831-6332 (札幌東高校内)

■会計報告

昭和62年度決算書並びに昭和63年度予算案

※一般会計

昭和62年度決算書

昭和62年7月1日から
昭和63年6月30日まで

(収入の部)

科 目	予算額	収入決算額	摘要
前年度繰越金	467,090	467,090	
新入会員会費	900,000	896,000	448名×2,000円
年会費	550,000	436,500	873名×500円
雑 収 入	472,910	375,500	預金利息 剩余金351,440円を含む
計	2,390,000	2,175,260	

(支出の部)

科 目	予算額	支出決算額	摘要
事務手当	215,000	215,000	事務手当及び交通費
事務用品費	30,000	7,020	用紙その他
印刷費	60,000	12,000	諸印刷代
通信費	50,000	50,000	切手、はがき、郵送料
慶弔費	100,000	85,000	餞別外
会議費	450,000	275,644	幹事会等会場費等
総会関係費	200,000	200,000	総会準備金
会報発行費	130,000	128,500	会報発行
学校祭関係費	140,000	122,400	学校祭参加
同期会等助成費	250,000	180,000	支部、同期会助成
新会員関係費	240,000	212,000	記念品贈呈
体育文化助成金	150,000	150,000	在校生助成
特別会計積立金	300,000	300,000	積立金
雑費	30,000	18,500	支部出席会費等
予備費	45,000	0	
次年度繰越金		219,196	
計	2,390,000	2,175,260	

昭和63年度予算案

昭和63年7月1日から
昭和64年6月30日まで

(収入の部)

科 目	予算額	摘要
前年度繰越金	219,196	
新入会員会費	900,000	450名×2,000円
年会費	550,000	1,100名×500円
雑 収 入	460,804	預金利息他
計	2,130,000	

(支出の部)

科 目	予算額	摘要
事務手当	215,000	事務手当及び交通費
事務用品費	20,000	用紙その他
印刷費	20,000	諸印刷代
通信費	60,000	切手、はがき、郵送料
慶弔費	100,000	餞別外
会議費	280,000	幹事会等会場費等
総会関係費	200,000	総会準備金
会報発行費	130,000	会報発行
学校祭関係費	130,000	学校祭参加
同期会等助成費	250,000	支部、同期会助成
新会員関係費	220,000	記念品贈呈
体育文化助成金	150,000	在校生助成
特別会計積立金	300,000	積立金
雑費	20,000	
予備費	35,000	
計	2,130,000	

繰越金は、北海道相互銀行菊水支店普通預金に全額預入。

※特別会計積立金（信託預入）

[収入の部]

前年度繰越額	4,690,615円
繰入金	300,000円 (一般会計から)
収益配当金	81,256円
合 計	5,071,871円

[支出の部]

80周年事業へ	3,000,000円
次年度繰越金	2,067,071円
解約手数料	4,800円

※残高内訳

安田信託銀行札幌支店
貸付信託 1,200,000円
金銭信託 255,633円
三井信託銀行札幌支店
貸付信託 600,000円
金銭信託 11,438円

監査報告書

昭和62年度の会計運営につき収支計算書、予算実績対比表の付属帳簿及び証拠書類につき監査を行った。

監査の結果、会計処理の原則及び手続きは、一般に公平妥当と認められる会計の基準に準拠しているものと認められた。よって、当監査役は上記決算書は昭和63年6月30日現在の財務状態を適正に表示しているものと認める。

昭和63年7月2日

監査役 中村瞳三四

監査役 助貞 英一

札幌東高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は札幌東高等学校同窓会と称し連絡運営のため事務局を母校におく。
(白石区菊水9条3丁目 電話811-1919)
- 第2条 本会は会員の親睦と母校の発展に寄与することをもってその目的とする。
- 第3条 本会会員は正会員並びに名誉会員よりなり、正会員は札幌東高等学校卒業生及び準ずるものとし、
名誉会員は札幌東高等学校旧並びに現職員とする。

第2章 役員及び組織

- 第4条 本会に名誉役員をおく。
- (1) 名誉会長 1名 現母校校長
 - (2) 名誉顧問 若干名 旧母校校長
 - (3) 顧 問 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
 - (4) 相 談 役 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
- 第5条 本会に次の役員をおく。
- (1) 会 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (2) 副 会 長 5名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (3) 幹 事 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (4) 副幹事長 10名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
 - (5) 常任幹事 若干名 正会員中より各期幹事の推薦に基づき会長が委嘱する。
 - (6) 幹 事 率 卒業時の各クラスより男女1名づつ2名を選出する。但し卒業後7年以降は、各期正会員の互選により各期若干名を選出し、その中から正副代表幹事を選出する。
 - (7) 監 査 役 2名 正会員より総会で選出する。但し前記役員とは兼任できない。
- 第6条 役員の任期は3年とする。但し再選を妨げない。
- 第7条 役員の任務は次のとおりとする。
- (1) 会 長 会務を総括し本会を代表する。
 - (2) 副 会 長 会長を補佐し会長事故あるときは、その任務を代行する。
 - (3) 幹 事 長 役員の分掌する任務を総括し、幹事会・常任幹事会及び執行委員会を主宰する。
 - (4) 副幹事長 総務・広報・組織・母校・会計の任務を分掌し、幹事長を補佐する。
 - (5) 常任幹事 本会事業の運営について協議し、執行委員会の任務を補佐する。
 - (6) 幹 事 会員間の連絡にあたり、幹事会に出席し組織強化に努める。
 - (7) 監 査 役 会計業務を監査し、会計の正常な運営を計る。
- 第8条 本会は次の機関をおく。
- (1) 総 会 本会の最高議決機関で年1回定期総会を開き、必要に応じて臨時総会を開催する。なお、定期総会の運営・実務は年次当番期が行う。
 - (2) 幹 事 会 総会に次ぐ議決機関で執行委員会の諮問事項を協議し、会の運営を協議、議決する。
 - (3) 常任幹事会 本会の事業計画、予算立案その他必要事項を協議する。
 - (4) 執行委員会 会長・副会長・幹事長・副幹事長で構成し、事業計画、予算立案その他必要事項を協議し、会の運営にあたる。

第3章 事 業

- 第9条 本会は会の目的達成のため次の事業を行う。
- (1) 総会の開催
 - (2) 会誌の発行
 - (3) 母校発展のための事業
 - (4) 本会の組織強化のための事業
 - (5) その他執行委員会で必要と認めた事業

第4章 会 計

- 第10条 本会の会計は正会員の会費・寄附金及び総会剰余金をもってこれにあてる。
- (1) 入会金は、1,500円とする。
 - (2) 年会費は、1ヶ年 500円とする。

第11条 本会の会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。

第12条 監査役は会計年度終了時に会計監査を行い、その結果を総会に報告する。

第5章 附 則

- 第13条 会員は住所、姓名等一身上の異動があったとき、これをすみやかに本会事務局又は各期代表幹事まで連絡しなければならない。

第14条 会則の変更は、総会において出席者の3分の2以上の承認を得なければならない。

第15条 会計業務は、母校事務局で行う。

第16条 本会則は昭和35年8月21日より施行する。

一部改正～昭和49年8月23日

昭和50年8月25日

昭和51年8月25日

昭和52年7月17日

昭和56年8月22日

昭和62年8月21日

札幌東高校同窓会 役員名簿

役 職	氏 名	卒業期	住 所	電 話	勤 務 先	電 話
顧 問	芦野 トシ	職業 9				
〃	松尾 静江	高女22				
相 談 役	石田 アイ	高女 2				
〃	小野寺チズ	高女16				
〃	五十嵐恒夫	東高 1				
会 長	吉中新太郎	東高 1				
副会長(母校)	秦 泰子	高女24				
〃 (総会)	田中 麗子	東高 2				
〃 (広報)	渡辺 貢一	東高 5				
〃 (組織)	吉原 宏	東高 6				
〃 (総会)	大黒 正芳	東高 8				
幹 事 長	岩城 弘侑	東高11				
副幹事長(母校)	小林 幸子	第一高1				
〃 (組織)	高木 美子	東高 3				
〃 (総会)	高木 紗子	東高 4				
〃 (母校)	陣内 幸則	東高 9				
〃 (広報)	高橋 正	東高10				
〃 (会計)	小山 国夫	東高12				
〃 (会計)	藤枝 靖規	東高14				
〃 (組織)	本間 公康	東高15				
〃 (組織)	村山 忠司	東高26				
〃 (組織)	富樫 勝	東高31				
監 査 役	中村瞳三四	高女21				
〃	助貞 英一	東高13				
常任幹事	長尾 貞子	高女 4				
〃	菅原 三枝	高女15				
〃	佐野 セツ	高女18				
〃	坂東 信子	高女22				
〃	亀谷美津子	高女25				
〃	横田佐和子	第一高2				
〃	佐藤 一郎	東高 1				
〃	長谷川 修	東高 2				
〃	久末 祐輔	東高 5				
〃	鈴木 敬夫	東高 7				
〃	遠藤 安倫	東高 8				
〃	関口 晃	東高 9				
〃	後藤 広治	東高11				
〃	佐々木信義	東高12				
〃	林 豊	東高14				
〃	西谷 洋利	東高15				
〃	倉知 拓野	東高16				

